

第88期 中間株主通信

2024年4月1日 >> 2024年9月30日

高める、つくる、そして、支える。









株主の皆様へ



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、当社は2024年9月30日をもって第88期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の前半を終了いたしましたので、ここに当中間期の概況についてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜ります ようお願い申しあげます。

2024年12月

取締役社長 上 田 真

当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、物価上昇の影響等により一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境が改善する中で、設備投資や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

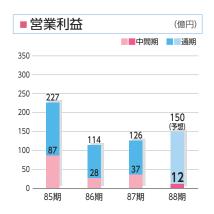
建設業界におきましては、住宅投資は横ばいとなりましたが、民間企業の建設投資は企業収益の改善を背景に緩やかな増加傾向にあり、公共投資も関連予算の執行により底堅く推移するなど、良好な受注環境が持続しました。しかし、資材費や労務費の高止まりもあり、採算面では一部に厳しさが残りました。

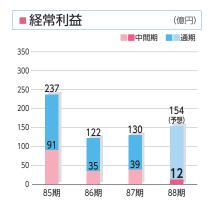
このような経営環境のもと、当社グループは本年5月に策定した①建設事業の強化、②周辺事業の加速、③経営基盤の充実を基本方針とする『熊谷組グループ 中期経営計画(2024~2026年度)~持続的成長への新たな挑戦~』にグループー丸となって取り組み、持続的成長への挑戦を続けているところであります。

当中間連結会計期間における業績は、売上高(完成工事高)は、手持ち工事の順調な消化により前年同期に比べ232億円(11.8%)増の2,194億円となりました。利益面につきましては、売上総利益率(完成工事総利益率)の低下により、営業利益は、前年同期に比べ25億円(67.1%)減の12億円、経常利益は、前年同期に比べ27億円(68.7%)減の12億円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、法人税等6億円

連結業績ハイライト









などを加減算し、前年同期に比べ19億円(78.4%)減の5億円となりました。

なお、売上総利益率の低下につきましては、建築事業における一部の工事において、工期延伸等により追加設計変更の 獲得が遅れていることなどが要因となります。

当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、コマーシャル・ペーパーの償還及び配当金の支払等で現金預金が減少し、受取手形・完成工事未収入金等の回収が進んだことなどにより、前期末に比べ363億円(7.8%)減の4,309億円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等の支払いやコマーシャル・ペーパーの償還などにより、前期末に比べ390億円(13.6%)減の2.481億円となりました。

純資産は、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの、保有する上場株式の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加等により、前期末に比べ27億円(1.5%)増の1,827億円となりました。なお、自己資本比率は、前期末の38.5%から3.9ポイント向上し、42.4%となっております。

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、政府の各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが見込まれますが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不

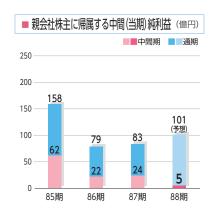
動産市場の停滞継続に伴う影響など、海外景気の下振れがリスクとして存在しています。さらに、中東地域をめぐる情勢など地政学的な問題や物価上昇、金融資本市場の変動等の影響にも十分留意する必要があります。

建設業界におきましては、民間企業の建設投資は堅調な企業収益等を背景に持ち直しの動きが続くと思われます。また、公共投資については、2024年度予算は前年度とほぼ同水準が確保されており、自然災害の激甚化・頻発化や社会インフラの老朽化など、人々の暮らしや産業の発展を支える基盤の持続性に大きな懸念が生じる中、防災・減災、国土強靱化への計画的な投資により引き続き堅調に推移すると予想されます。一方で、原油高や建設資材高及び労務需給の逼迫、時間外労働規制の適用といった採算悪化や需要減退を招くリスク要因の動向を注視していく必要があります。

このような状況のもと、当社グループは本年5月に前計画に掲げた長期構想を踏襲し、社会から求められる建設サービス業の担い手として"限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会"の実現に向け、2026年度の連結売上高5,000億円、連結経常利益300億円、ROE10%以上を財務目標に定めた『熊谷組グループ 中期経営計画(2024~2026年度)~持続的成長への新たな挑戦~』を策定しました。本計画にグループー丸となって取り組み、持続的成長への挑戦を続けてまいります。

上記状況及び当中間連結会計期間の実績等を勘案した結果、現時点において2024年5月14日に公表した当期の連結業績予想及び個別業績予想に変更はありません。

なお、当期の個別業績予想の内訳を一部見直し、国内土木事業における売上総利益は前期比5.5%増の130億円(前回公表値対比20億円増)、国内建築事業における売上総利益は同23.0%増の150億円(同20億円減)としました。



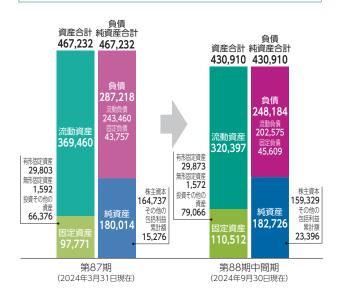




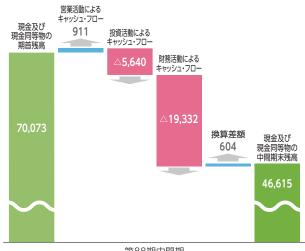


申間連結貸借対照表の状況

(百万円)



■中間連結キャッシュ・フロー計算書の状況 (百万円)



第88期中間期 (2024年4月1日~2024年9月30日)

申間連結損益計算書の状況

(百万円)



第88期中間期 (2024年4月1日~2024年9月30日)

ポイント

■中間連結貸借対照表

総資産は4,309億円と期首に比べて363億円減少しました。これは買掛債務とコマーシャル・ペーパー等の債務履行による現金預金の減少と売掛債権の回収等によるものです。また純資産は1,827億円となり、自己資本比率は3.9ポイント向上し42.4%となりました。

■中間連結損益計算書

売上高は前年同期比232億円増加の2,194億円となったものの、 売上総利益率の悪化等により経常利益は同27億円減少の12億円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は法人税等の計上により、5億円となりました。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

仕入債務の減少の一方、大型工事の債権回収により売上債権の減少が顕著だったため、営業活動によるキャッシュ・フローは9億円となりました。海外事業関連の関係会社有価証券の取得により、投資活動によるキャッシュ・フローは56億円減少しました。財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に発行したコマーシャル・ペーパーの償還等により、193億円減少しました。これらの結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は前期末より234億円減少し、466億円となりました。

単体の業績について



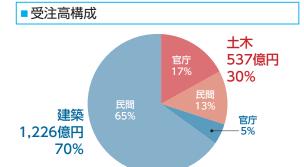
受注高は、前年同期比35.7%増の1,763億円となりました。このうち、土木工事は536億円、建築工事は1,226億円であり、これらの発注者別内訳は官庁22.1%、民間77.9%であります。

売上高は、同8.8%増の1,609億円となりました。このうち、土木工事は494億円、建築工事は1,115億円であり、これらの発注者別内訳は官庁24.5%、民間75.5%であります。

この結果、下半期への繰越高は、同15.6%増の5,972億円となりました。利益につきましては、経常利益は7億円、中間純利益は6億円となりました。

■損益等の状況

	区	分		88期上半期	前年同期比
受	注		高	1,763億円	(35.7%増)
売	上		高	1,609億円	(8.8%増)
繰	越		高	5,972億円	(15.6%増)
中	間純	利	益	6億円	(75.7%減)



主な受注工事及び完成工事

受注工事

- (仮称) 札幌北 1 西10計画新築工事:エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
- ●石垣(6)射場新設建築工事:防衛省
- ●東北自動車道 和賀川橋床版取替工事:東日本高速道路株式会社
- ●大野油坂道路新下半原トンネル工事:国土交通省



SOSiLA岡山南

完成工事

- SOSiLA岡山南:住友商事株式会社
- 飯舘みらい発電所:飯舘バイオパートナーズ株式会社
- 東海環状自動車道大須ヶ洞第三橋他 1 橋 (下部工) 工事:中日本高速道路株式会社
- 敦賀火力発電所 2 号機 木質バイオマス受払・貯蔵設備設置工事の内土木建築工事: JFEエンジニアリング株式会社



敦賀火力発電所2号機 木質バイオマス受払・ 貯蔵設備設置工事の内土木建築工事



当社のホームページがリニューアルいたしました!

最新の情報や施工物件などがWEBサイトでご覧いただけます。





そして、支える。





いただくことができます。ぜひご参照くだ

さい。



当社のテレビCMもご覧いただけます。

式情報		
②路債報 → 2.60の状況について掲載しています。	電子公告 → 電子公告の需要はこちのです。	株主総会 → 株主総合の技能速化、決定連定などを掲載して います。
アナリストカバレッジ → アナリストカバレッジ → アリストは、接急の関係に着づいて自社の財 ・技術、単二、単単等は、投資を3、投資や2 中が代し、芸化の実施とどき等以これのとす。 れらのいゆなる機能とも指定を設定及び発社は一 機能もしてものません。	維付け福祉 マ 野部については、特別技術等センター(944) ホティトをご覧ください。	技力レンダー っ 動機能のは、関する意見メクジュールをご提覧 いのだけます。中央の予定は、都定により支援 となる場合がありますのでご了事でさい。
1648 -	株式手級案内 →	分割純資産移転割合 →

株主様向けの各種情報を取りまとめており ます。

会社の概要

(2024年9月30日現在)

創 業 1898年1月

設 立 1938年1月

資 本 金 301億851万615円

従業員数 2,827名

主要な営業所

本 店

福井市中央2丁目6番8号 〒910-0006 TEL(0776)21-2700

東京本社

東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3260-2111

北海道支店

札幌市中央区大通西7丁目3番1号 〒060-0042 TEL(011)261-7271

東北支店

仙台市青葉区上杉5丁目3番36号 〒980-0011 TEL(022)262-2811

首都圏支店

東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3260-4750

東京建築支店

東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)4523-3497

名古屋支店

名古屋市中区栄4丁目3番26号 〒460-8402 TEL (052) 238-3011

北陸支店

金沢市広岡2丁目13番5号 〒920-8721 TEL(076)208-3230

関 西 支 店

大阪市西区靱本町1丁目11番7号 〒550-0004 TEL(06)6225-2226

中四国支店

広島市中区大手町2丁目11番10号 〒730-0051 TEL(082)241-3222

四国支店

高松市木太町3027番地1 〒760-0080 TEL(087)862-2011

九州支店

福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号 〒810-0004 TEL(092)721-0011

技術研究所

茨城県つくば市鬼ヶ窪1043番地 〒300-2651 TEL(029)847-7501

沖縄支店

那覇市泉崎1丁目21番13号 〒900-0021 TEL(098)862-7829

海外拠点 ベトナム、インドネシア、ミャンマー

取締役及び監査役

取締	役会	景	櫻	野	泰	則	取	締	役	吉	\blacksquare		栄
取 締(代表	₹役 社 長取締	上 長 i 役)	上	Ш		真	取	締	役	岡	Ш		茂
取 (代表	締 ₹取締	役 i役)	岡	市	光	司	取	締	役	桜	木	君	枝
取	締	役	谷		弘	恭	取	締	役	奈	良	正	哉
取	締	役	小	野	哲	男	常勤	監査	i 役	Ш	野輔	命 政	浩
取	締	役	伊	藤	泰	治	監	査	役	Ш	Ш	章	雄
取	締	役	佐	藤		建	監	査	役	上	\blacksquare	美	帆

(注)取締役吉田栄、岡田茂、桜木君枝及び奈良正哉の各氏は社外取締役、監査役 山田章雄及び上田美帆の両氏は社外監査役であります。

グループ会社

株式会社ガイアート	東京都新宿区新小川町8番27号 〒162-0814 TEL(03)5261-9211			
ケーアンドイー株式会社	東京都千代田区富士見2丁目7番2号 〒102-0071 TEL(03)3512-2211			
華熊營造股份有限公司	台湾台北市大安区敦化南路一段205号 TEL +886-2-2721-0427			
テクノス株式会社	愛知県豊川市穂ノ原2丁目1番地 〒442-0061 TEL(0533)84-1111			
株式会社ファテック	東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3235-6269			
テクノスペース・クリエイツ株式会社	東京都豊島区東池袋3丁目12番12号 〒170-0013 TEL(03)5960-1070			
株式会社テクニカルサポート	東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3235-8131			

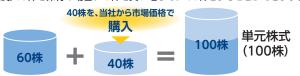




単元未満株式の買増請求制度のご案内

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で 買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例)60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

- ① 証券会社口座にある株式 → お取引先の証券会社
- ②特別口座にある株式
- ➡ 三井住友信託銀行

(下記までお問い合わせください。)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

00 0120-782-031

https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

配当金のお支払期限について

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。

支払開始日から3年以上経過した配当金については除斥期間を経過したものとして、ご請求いただいてもお支払することができ ません。配当金はお支払開始後お早目にお受け取りください。

株主メモ

事	業	年	度	毎年4月1日から
				翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ 公告して定めた日

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所

証券コード 1861

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同連 絡先 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵 送 先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0000120-782-031

公告の方法

当社のホームページに掲載します。

https://www.kumagaigumi.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告 をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

表紙写直

建物名:パークウェルステイト幕張ベイパーク 発注者:三井不動産レジデンシャル株式会社

用 途:医療福祉施設

所在地:千葉県









〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2番1号 TEL(03)3260-2111 https://www.kumagaigumi.co.jp/





